

<「知るっば!久留米」 令和2年12月3日(木) 12:30~放送分>

ふるさと納税 ～第1回～ 久留米のふるさと納税

<ゲスト：久留米市役所総務部総務課 大石 雄一主査>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば!久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

本日は、『久留米のふるさと納税』をテーマにお送りしております。

ゲストは、この方です。

ゲスト:大石雄一さん(以下「大石」)

久留米市役所 総務部総務課の大石です!

よろしくお願いします。

坂本 大石さん、よろしくお願いします。

早いもので、今年も残すところ1ヶ月を切りました。

ここ数年、この時期になりますと、テレビでふるさと納税のCMがどんどん流れていると思います。

テレビでは、相撲の元親方の人とか、コント師のみなさんの面白いCMが流れていますよね。

世間では、ふるさと納税の駆け込み時期なんてことも言われているようですが、

ふるさと納税について知っているようで、実はよく知らない方もいらっしゃると思いますので、

簡単に制度の説明をお願いします。

大石 「納税」という言葉がついていますが、実際には自治体への「寄附」のことです。

「生まれ育ったふるさと」や「応援したいまち」に寄附をして、確定申告等の手続きをすることで、寄附金額から2,000円を除いた金額が所得税から戻ってくる、住民税から差し引かれるというものです。

さらに、寄附した自治体から寄附に対するお礼の品として、特産品がもらえるということで注目されている制度です。

坂本 寄附で、所得税なんかは戻ってくる、住民税が差し引かれる、いわゆる控除が受けられるということなんですよ。

さらに、お礼として地方の特産品までもらえる魅力的な制度なんですよ。

久留米市におけるふるさと納税の取り組みや状況について、教えていただけますか?

大石 久留米市は、平成20年の制度開始当初からふるさと納税の取り組みを始め、平成28年度には、当時全国の自治体で13番目に多い20億円を超える寄附をいただきました。

坂本 20億円って大きな額ですね。全国で13番目っていうのも結構上のほうですよ。

大石 全国の自治体が取り組みを強化し、いわゆる「返礼品競争」が過熱する中、国が規制に乗り出し、昨年6月からは、ふるさと納税の対象自治体を国が指定する制度になりました。久留米市も指定自治体として、昨年度は約8億8000万円の寄附をいただいております。今年度は、コロナ禍の中、「巣ごもり消費」が好調ということもあり、寄附も順調に伸びていて、昨年度を上回る勢いです。

坂本 今年はコロナもありましたので、ちょっと厳しかったところもあるかもしれませんが、逆にそれがプラスに働いたところもあるのかもしれませんが、ふるさと納税そのものは、各自治体が特色を出した返礼品やPRをしておられるんですけども、久留米市の返礼品はどんなものがあるのか、教えていただければと思います。

大石 久留米市は、苺の「あまおう」などの農産物からラーメン、焼きとりなどの加工食品、久留米餅や藍胎漆器など、バラエティに富んだ返礼品をたくさん用意しています。今年が一番人気は、市内の企業が開発したマイクロバブル温浴が楽しめるシャワーヘッド「ピュアブルⅡ」という返礼品です。ふるさと納税の各ポータルサイトで大好評いただいており、現在3カ月待ちの状態ですが、「ものづくりのまち久留米」を全国に発信する機会になっています。ただし、ふるさと納税の返礼品は、その趣旨から、久留米市民の方が久留米市にふるさと納税をされても、返礼品をお送りすることができませんのでご注意ください。

坂本 シャワーヘッドというのは、なかなか珍しいですよ。特産品というと、農産品とか果物とか牛肉とか思い浮かぶわけなんですけど、久留米は「ものづくりのまち」ということで、そういった技術力でこういった製品が人気を呼んでいるということだと思います。ちょっと話を変えまして、久留米市に集まったふるさと納税のお金がどのように使われているのか、その使い道を少しお聞きしたいと思います。久留米市独自の使われ方などあれば、ぜひ教えてください。

大石 ふるさと納税は、寄附する人が「寄附の使い道」を指定できるという特徴があります。久留米市では、「こども生き生き応援事業」、「歴史継承・芸術の推進事業」、「健康・福祉事業」、「花と緑のまちづくり事業」、「祭・観光振興事業」、「市長おまかせ」という6つの応援メニューを用意しています。寄附していただいた方々の思いを活かせるような事業に活用させていただいています。また、返礼品の送付はありませんが、「令和2年7月豪雨災害支援寄附」、

「新型コロナウイルス対策最前線の医療機関を支援」、「がんばる久留米の市立高校応援」として、久留米市立の南筑高校、久留米商業高校への支援の受付も行っています。

坂本 なるほど、色々な使い方のメニューがあって、久留米を応援したいみなさんが、そこに色々な思いを込めていただけたらいいなというように思いました。特に返礼品はございませんが、豪雨災害の寄附だとか、あるいはコロナウイルスの対策をしていただいている医療機関への支援とか、また市立高校については、久留米を離れたOB・OGのみなさんがしていただけると大変嬉しいなと思います。総務部総務課の大石さん、興味深いお話をありがとうございました。

再度お伝えしますが、久留米市のみなさんが久留米市にふるさと納税をしていただいても、残念ながら返礼品を受け取ることはできないことになっています。なので、市外にお住まいのご家族、ご友人のみなさんに、久留米市へのふるさと納税を案内していただくと大変ありがたく思います。ふるさと納税に関する情報は、久留米市ふるさと納税特設サイトでご確認いただくか、市役所の総務部総務課、0942-30-9744 にお問い合わせください。来週からは、全4回にわたって「有馬火消し」についてお送りしていきます。お楽しみに！